

鉄筋コンクリート造配筋標準図（7）の修正について

日建連と（一社）日本建築構造技術者協会が協働改定し、2020年6月1日に公開しました「鉄筋コンクリート造配筋標準図」の一部に誤りがございましたので、修正したものをこの度公開いたしました。2020年6月1日版をご使用されている方々にはご迷惑おかけしますが、ご確認いただきますようお願い申し上げます。また、改定版の標準図 PDF、DWG データは、日建連のホームページよりダウンロードが可能となっております。

【修正内容】

「鉄筋コンクリート造配筋標準図（7）」図8-4 柱梁配筋概要図において、以下①から③の修正を行いました。また、修正箇所は図1に記載しましたので、参照ください。

- ① 段差梁部上階柱の内法高さの寸法押さえ位置。
- ② 絞り柱取り付け梁の上端筋継手位置の寸法押さえ位置。
- ③ 梁段差寸法が500mmに近くなる場合、下段梁から500mmの位置に継手を設けると上段梁直上から継手をとって良いこととなることから、構造、施工の両面から適切とはならないため、上段梁天端からの寸法にする旨を追記。

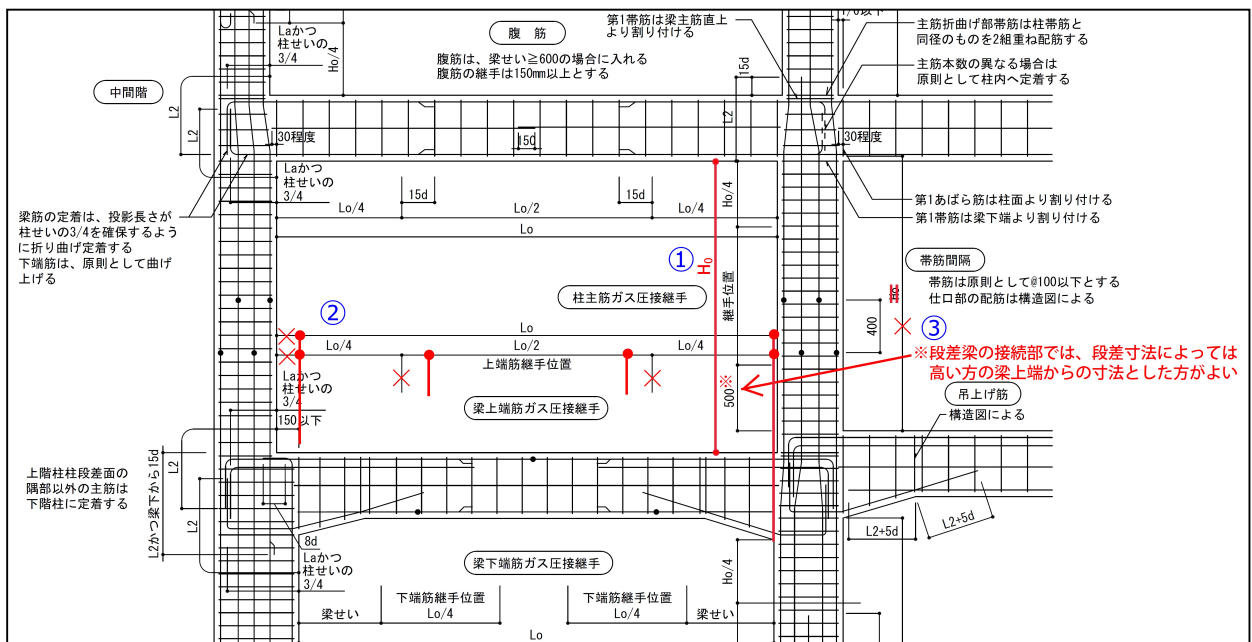


図1 鉄筋コンクリート造配筋標準図（7）の変更箇所